

(新)アジア太平洋環境開発フォーラムセカンドステージ (APFED) 活動推進費	146百万円(0百万円)
--	--------------

地球環境局総務課

1. 事業の概要

アジア太平洋環境開発フォーラム (APFED) はアジア太平洋地域にふさわしい、より衡平で持続可能な発展のモデルを提示することを目的にエコアジア2001において設立され、橋本龍太郎元首相を議長に、ハイレベルの有識者による議論を行い、平成16年12月には、具体的な取組の提言を含む、最終報告文書を採用する見込みとなっている。最終報告文書の中では、APFEDが今後、持続可能な開発に関する「知識管理」と「革新の促進」を推進するアジア太平洋地域の一つのセンターとして活動していくというセカンドステージに移行することを提案している (APFED)。

平成17年度以降は、この提言が、アジア太平洋地域全体で実行されるよう支援することが重要である。このため、提言の周知を目的とした啓蒙活動を行う。また、あらゆるレベルでステークホルダーの交流を図り、提言の実行に向けての情報共有・意見交換を進める。さらに、取組の優良事例や研究開発成果などの知識の共有化を促進する。

2. 事業計画

	H17	H18	H19	H20	H21
・ APFEDの提言の周知、啓蒙					
・ APFED					
1. 各界関係者交流メカニズム					
2. 持続可能な開発ナレッジイニシアティブ					

3. 施策の効果

APFEDの提言の周知、啓蒙や、地域内の各国政府、関係国際機関、NGOや企業など多くの主体間の開かれた対話を進めることにより、APFEDの提言実施に向けた意識を高めるとともに、取組事例や研究成果を集積し、提言を実施する取組に必要な知識を地域内に提供する。これらを通じて、アジア太平洋地域環境共同体構想の長期的方向性についての体系的な検討に資する。

こうした支援を進めることにより、APFEDの提言及び行動計画のアジア太平洋地域のあらゆる主体による実施が図られ、地域の、ひいては世界の持続可能な社会の形成に貢献するものとなる。

APFED II の全体構成

